



Assets

- [Assets](#) (1 ページ)

Assets

Cisco Spaces : IoT Explorer は、アセットの位置など、アセットに付加されたタグからのデータを継続的に監視します。いずれかの測定値が、ワークフロー、ポリシー、およびビジネスルールで確立された規範から逸脱すると、ソリューションはすぐに措置を実施します。即時アラートを受け取ることができます。また、必要に応じて、ワークフローやビジネスルールによって事前定義された自動アクションをトリガーすることもできます。

ユースケースを作成したら、複数の方法でユースケースにアセットを含めることができます。

テンプレートファイルを使用したユースケースへのアセットのインポート

このタスクでは、テンプレート（XLS）ファイルを使用してアセットを一括でインポートする方法を示します。

手順

- ステップ 1** Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成したユースケースを選択します。
- ステップ 2** [Configure] に移動し、[Manage Assets] 領域で [Import Assets] をクリックします。
- ステップ 3** 表示された [Add Assets] ページで、[Bulk Import Assets] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Add Assets - Import Via Spreadsheet] ページで、[Download Template Here] をクリックしてテンプレートファイルをダウンロードします。
- ステップ 5** テンプレートファイルに、インポートするすべてのアセットの詳細を入力します。
- ステップ 6** [Add Assets - Import Via Spreadsheet] ページで、[Click here to browse or Drag a file to upload] をクリックします。編集したテンプレートファイルをアップロードします。[Import] をクリックします。

インポートされたアセットは、このユースケースの [Assets] タブで確認できます。

ロケーション階層を使用したユースケースへのアセットのインポート

このタスクでは、Cisco Spaces のロケーション階層からアセットをインポートする方法を示します。Cisco Spaces : IoT サービス にすでにオンボードされているアセットをインポートできます。

手順

ステップ 1 Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成したユースケースを選択します。

ステップ 2 [Configure] に移動し、[Manage Assets] 領域で [Import Assets] をクリックします。

ステップ 3 表示される [Add Assets] ページで、[Setup Existing Sensor Filter Criteria] を選択します。
サポートされているアセットの数を確認できます。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 表示される [Add Assets - Set Up Filter Criteria: Select Locations] ページで、ユースケースに含めるロケーションを選択できます。次のいずれかをクリックします。

- [Include all Locations] : 今後階層に追加されるすべてのロケーションを自動的に含めることで、現在のすべてのロケーションをユースケースに含めることができます。
- [Select Locations] : このユースケースに含めることができる特定のロケーションを選択できます。このオプションを選択すると、表示されたロケーション階層に移動し、特定のロケーションからユースケースにアセットをインポートするように選択できます。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 表示される [Add Assets - Set Up Filter Criteria: Select Device Groups] ページで、選択したロケーションから特定のデバイスグループのみをユースケースにインポートできます。次のいずれかをクリックします。

- [Include all Groups] : 今後階層に追加されるすべてのデバイスグループを自動的に含めることで、すべてのグループをユースケースに含めることができます。
- [Select Locations] : このユースケースに含めることができる特定のデバイスグループを選択できます。このオプションを選択すると、ユースケースのロケーションに適用可能なデバイスグループから選択して、それらのアセットのみをユースケースにインポートできます。今後選択したデバイスグループに追加されたアセットは、すべて自動的にユースケースにインポートされます。

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Add Assets] をクリックします。

ユースケースにインポートされているアセットの数が表示されます。

ユースケースにアセットを個別で追加

このタスクでは、アセットを1つずつ個別にユースケースに追加する方法を示します。Cisco Spaces : IoT サービス のロケーション階層にすでにオンボードされているアセットを追加できます。

手順

- ステップ 1 Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成したユースケースを選択します。
- ステップ 2 [Configure] に移動し、[Manage Assets] 領域で [Add individual Asset] をクリックします。
- ステップ 3 表示された [Add Assets] ページで、[TAG INFORMATION] 領域に移動し、リストされているタグタイプのいずれかを選択します。
- ステップ 4 [Device MAC address] テキストフィールドに入力します。
- ステップ 5 [Asset Name] テキストフィールドに、アセットの推奨名を入力します。
- ステップ 6 [Save] をクリックします。
- ステップ 7 (任意) ユースケースにさらにアセットを追加するには、[Add Another Asset] をクリックします。

アセットがユースケースに追加されます。

ユースケースに追加されたアセットの表示

このタスクでは、ユースケースに追加されたアセットのリストを表示する方法を示します。次のようなアセットの詳細を表示することもできます。

- 電池残量の割合
- アセットの最終検知時刻
- フロアマップ上のアセットの位置

手順

- ステップ 1 Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成したユースケースを選択します。
 - ステップ 2 次のいずれかを実行します。
 - [Assets] タブに移動します。
 - [Configure] タブの [Manage Assets] 領域で、[View Assets] をクリックします。
- [Assets] タブでは、次の情報を表示できます。
- [All Assets] : ユースケースに追加されたすべてのアセットのリスト。

- [Heard Recently] : アセットが最後に検知された時点に応じたアセットのリスト。最終検知時刻に応じてアセットカテゴリを表示できます（過去 1 時間未検知、過去 24 時間未検知、最終検知（過去 1 時間内検知））。
- [Battery] : アセットの電池残量を表示します。電池残量に応じてアセットカテゴリを表示できます（10% 未満、50% 超、90% 超）。

ステップ 3 アセットをクリックして、アセットの詳細を表示します。アセットが Cisco Spaces ロケーション階層の一部である場合、[Map Location] タブには、アセットが配置されているフロアマップが表示されます。

アセットリストのビューのカスタマイズ

ユースケースに合わせて、表示されるアセットのリストのビューをカスタマイズできます。

手順

ステップ 1 Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成したユースケースを選択します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- [Assets] タブに移動します。
- [Configure] タブの [Manage Assets] 領域で、[View Assets] をクリックします。

ステップ 3 アセットをクリックして、アセットの詳細を表示します。アセットが Cisco Spaces ロケーション階層の一部である場合、[Map Location] タブには、アセットが配置されているフロアマップが表示されます。

ステップ 4 列のタイトルの近くにある 3 つのドットをクリックして、次のいずれかを実行します。

- [Hide Columns] : 非表示になっている列は、表示される [Unhide Columns] ボタンで表示できます。
- [Pin Column] : 列を列の先頭に移動して固定します。
- [Sort Ascending] : この列のコンテンツの昇順に行を並べ替えます。
- [Sort Descending] : この列のコンテンツの降順に行を並べ替えます。

ステップ 5 [Asset] タブのビューをカスタマイズしたら、表示される [Save as a new view] ボタンをクリックしてビューを保存できます。

ステップ 6 特定のパラメータでビューをフィルタリングすることもできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。